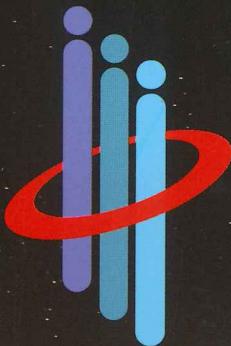


65YEARS ANNIVERSARY

UEPA



Corporate Profile

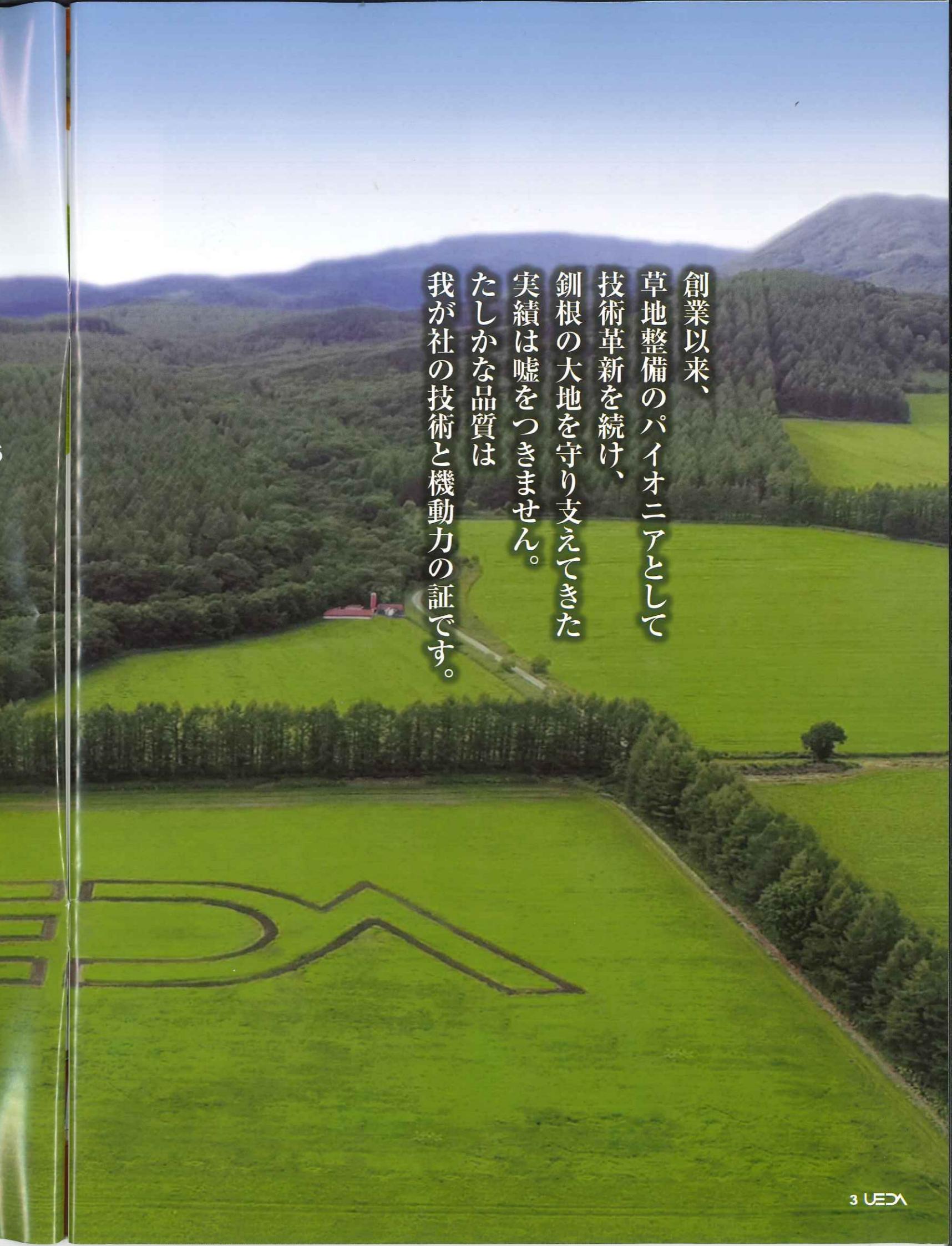


BE CREATIVE FOREVER

永遠なる創造のために

宗魂

Agriculture Spirits



創業以来、
草地整備のパイオニアとして
技術革新を続け、
鉢根の大地を守り支えてきた
実績は嘘をつきません。
たしかな品質は
我が社の技術と機動力の証です。

夢と潤いある
理想環境の創造



1954年に初代・上田景光が「小さな総合建設業」として「土建上田組」という新芽をここ標津町川北で誕生させ、その後、1971年からは先代・光夫が48年という年月をかけてこの会社を太い幹へと育て上げて参りました。

そして2019年、お陰様を持ちまして弊社は創立65周年を迎え、同年、そのタクトを私が引き継ぐに当たり、ここまで弊社を育て上げた初代、そして先代に大きな尊敬の意を抱くとともに、古くよりご支援戴いた地域の皆様やご協力戴いた関係各社の皆様には心より感謝申し上げる次第でござります。

北海道の東端、世界自然遺産として一躍有名となった知床連山の麓に位置する、我が故郷標津町。

人口わずか5,300人ほどの小さな町ですが、海・川・山・平原が見事に調和した大自然は、酪農と漁業を中心とした基幹産業の母体として豊富な恵みを我々に提供してくれます。

この恵まれた環境の中、標津町川北地区という酪農郷において、弊社は草地改良を中心とした農業土木の分野で大きく成長させて戴き、近年は道路改良や橋梁、海岸・河川工事など多様な分野でも貢献できるようになりました。

しかしそこにたどり着くまでのプロセスでは、北海道東端と言う僻地性、リーマンショックなどの経済停滞、近年では爆弾低気圧による大規模な自然災害など様々な障壁も立ち塞がりました。

そう言った中でも成長を遂げられたのは、地域の皆様の支え、そして後ろを顧みず前へと歩みを進めた弊社従業員の探求心と向上心あってこそ、と思うところであります。

こうして前だけを見据え邁進を重ねてきた弊社ではございますが、時代の流れと共にその歩調を見直すべく働き方改革委員会を発足。2018年春より、弊社独自の働き方改革をスタートさせました。

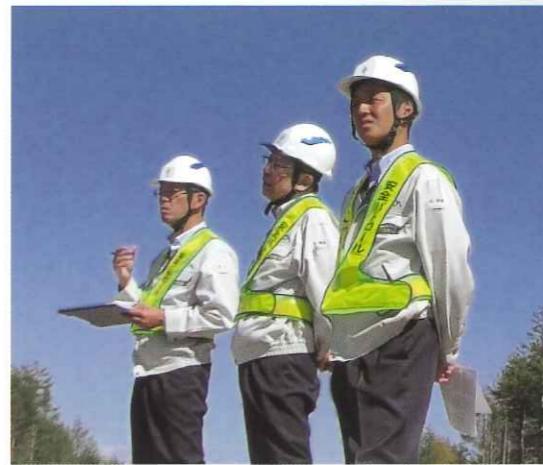
それは残業と休日出勤低減による生活環境の進化、新システムを積極的に取り入れる技術の新化、そして積み重ねた歴史と文化を継承する伝統の深化を取り入れ、充実した福利厚生と合わせ職場に潤いをもたらせる試みであります。

社はである「夢と潤いのある理想環境の創造」は、地域と社会、そして自らの従業員に理想郷を提供すべく、弊社自身のあり方を創造せよ、と言う先代の教えです。

どんな環境にも決して満足せず、常にその先を創造し豊かさを追求する。こうした想いを弊社のみならず上田組グループ全体で共有し、地域をリードする企業としての誇りを持って精進して参ります。

先より厚い信頼と愛情をお寄せ戴いている皆様に、更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、日頃の感謝の気持ちを重ねまして私からのご挨拶とさせて戴きたいと思います。

代表取締役社長 上田 修平



WE ARE UEDAGUMI!

上田組のご紹介

経営理念

「BE
C
R
E
A
T
I
V
E
F
O
R
E
V
E
R」
「積極」「真摯」「細心」
「永遠なる創造のために」

上田組は地域の皆様に愛されるフィールドリーダーとして
積極的に活動し、その責任を真摯にグループ全社員で共有しながら
誠実かつ細やかな仕事をモットーに確かな品質を提供し続けると共に、
永続的な発展を描きながら前進し続けます。

安全衛生方針

株式会社上田組は、「人間尊重」の原点に立ち、働く人すべての健康と安全を確保するために、全員参加型の安全衛生管理活動を継続的に展開させ、安全衛生水準を向上させる。



本 社
〒086-1451
標津郡標津町字川北96番地5
TEL 0153-85-2221
FAX 0153-85-2662

釧路営業所
〒085-0054
釧路市曉町12番2号
TEL 0154-21-5518
FAX 0154-21-5520

**いくら丼
うえだ入間店**
〒358-8515
埼玉県入間市宮寺
三井アウトレットパーク入間 2F
フォレストキッチン内
TEL 04-2902-5376

**日本製紙釧路工場
構 内 事 業 所
E D B 事 業 所**
〒084-0905
釧路市鳥取南2丁目1番47号
日本製紙㈱釧路工場内

創業	昭和29年(1954年)3月19日
資 本 金	35,000,000円
事 業 年 度	3月1日～翌年2月末日
総 人 員	132名 内役員9名、社員48名、準社員20名、 作業員他55名 平成30年5月31日現在
主な受注先	釧路開発建設部、釧路建設管理部、 根室振興局、標津町、標津町農業協同組合、 (一社)根室管内さけ・ます増殖事業協会、 日本製紙㈱、三井不動産商業マネジメント(㈱)

工事部は新体制へ！

一部体制から5部+1室体制へ。
発注者の多様なニーズに柔軟な姿勢
で対応します。



これまで長きに渡り工事部一部体制で運営して参りましたが、受注量の増加に伴い所帯も大きくなり、発注者対応の細分化や指導体制の簡略化が必要となったことから、5部+1室体制へと舵を切りました。これにより、農業施設工事を主要工事とする農業土木部、草地改良を主要工事とする草地整備部、道路・橋梁・河川工事を主要工事とする第1土木部、民間・維持工事を中心とした第2土木部、品質や安全を統括管理する工事管理部、そして新技術の導入を率先して行うICT推進室が新設されました。

ICT推進室とは…

測量・設計から施工・検査、さらには維持管理・更新までの全てのプロセスにおいてICT技術の導入を推進します。



ドローンによる測量



i-Construction対応重機

作業員から フィールドワーカーへ！

従来「作業員」と呼ばれていた呼称を改め、
上田組では「フィールドワーカー」と呼んでいます。
個々が責任ある業務を行い、現場への積極的な関与
を願ってのものです。



WAY OF WORKING REFORM

働き方改革

上田組の働き方改革とは…

社内共有管理システムにより、労務や原価、情報管理の簡素化を実現。
就労時間を短縮し、より充実した生活環境を持てるよう社全体で取り組んでいます。

進化



月末金曜日はノーギャラデー



社内情報共有管理システムの勉強会



連携作業の強化



新技術の利用促進のためICT推進室発足



いくら丼うえだ入間店オープン



グローバル企業を目指しNZにて葡萄栽培開始

深化

古き良き文化は既存のままに。そして更なる研鑽の結果、
深みのある技術継承を実現する。価値ある伝統は次世代へ。



1980年代



2018年代

SERVICE AND BENEFIT PROGRAM

福利厚生



一年のスタートは春の懇親会から！



上田組グループ全員参加の大忘年会！
多彩なゲームや部対抗綱引きには豪華景品が！



5年に1度の
社内旅行は全職員で！



社宅及び社員寮完備



企業がん対策
・人間ドックの隔年受診を実施
・全従業員のスクリーニング検査を実施



上田組グループ 従業員感謝祭

多数の提携店



各種提携店による充実したサービス提供
上田組の社員証提示により提携店では様々なサービスを受けられます。

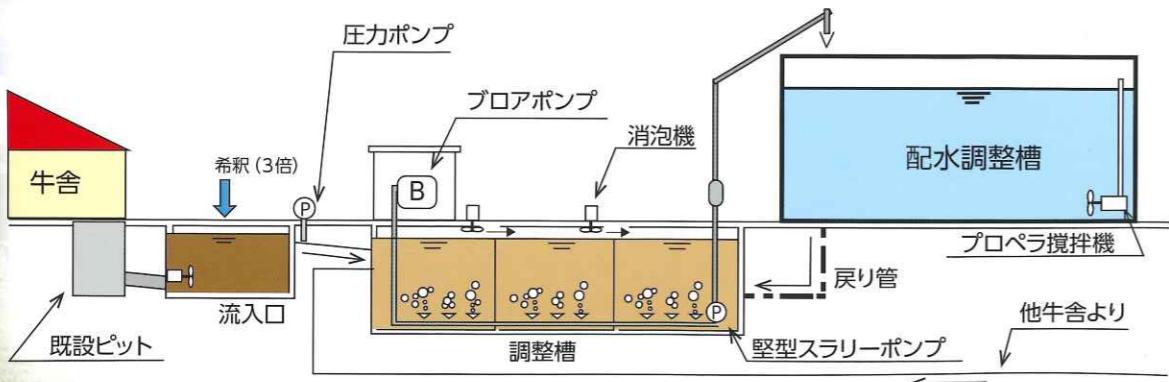
AGRICULTURE ①

肥培かんがい事業



酪農の未来を創造し、
環境改善に努める義務がそこにある。

道内の酪農・畜産農家は経営規模の拡大や飼養管理方法に見合った糞尿処理施設の整備が遅れしており、糞尿の河川流出や悪臭等の畜産環境問題が懸念されていました。北海道開発局や農協ではこの整備を開始し、河川への土砂流入を抑制する土砂緩止林や水質浄化機能を備えた遊水池等の設置により徐々に効果が発現してきており、水質改善が認められています。



AGRICULTURE ②

草地整備事業

草地整備改良工事において、上田組の技術と機動力は確かな評価と厚い信頼を得ています。

ここ道東は、北海道の中でも言わずと知れた大酪農地帯。

その支えとなるべく、常に技術の研鑽と品質向上を追求しています。

起伏修正



H27 草地整備あさひ別海西外1地区71工区



H27 草地整備あさひ別海西外1地区71工区



草地整備は生産効率を高め競争力ある「攻めの農業」に向け、担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化等を推進するための農地の区画整理、起伏修正、農業用排水施設の整備等を行います。

草地更新や施肥・播種、土工事など天候に左右されやすい作業が多く、長年の経験と知識が要求されることから、上田組では「草地整備部」を創部し、それらの技術を継承する努力を積み重ねています。

草地改良



耕起



碎土



土改材散布

- Order
- 耕起
 - 碎土 1回目
 - 土改材散布
 - 碎土 2回目
 - 碎土 3回目
 - 鎮圧 1回目
 - 施肥播種
 - 鎮圧 2回目



鎮圧



施肥播種

コントラ事業

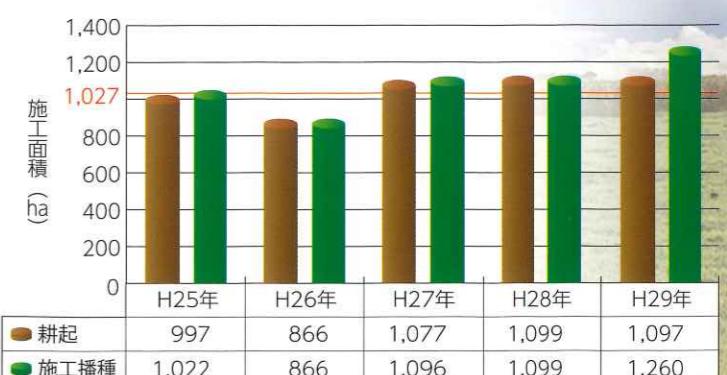
大型農機で地域の酪農収穫作業をサポート



H27 草地整備あさひ別海西外1地区71工区

全面工事施工実績

上田組の年間草地整備量は5年平均で1,027ha、これは東京ドームの実に218個分の面積となり、自社機械で行う元請施工量としては日本一（当社調べ）を誇ります！



ROAD & BRIDGE

道路・橋梁

道路は北海道にとって、人々の移動手段、物流を司る重要なファクター。
国道、道道の幹線道路から農道、町道といった生活道路まで。
上田組はあらゆる場面で道路改良や橋梁整備の施工を担っています。



H26 標津川特定河川改良工事(交付金)築堤工



H27 根室中標津線道路改良工事

北海道の広大な面積に
血管のごとく
張り巡らされた幹線道路。
私たちの仕事一つ一つが
北海道を元氣にする。



H27 標津川特定河川改良工事
(交付金) サーモン橋



H29 一般国道335号標津町鬼尾内改良工事



H29 薰別川北線(A改-220)
交付金工事



H28 一般国道44号温根沼改良工事

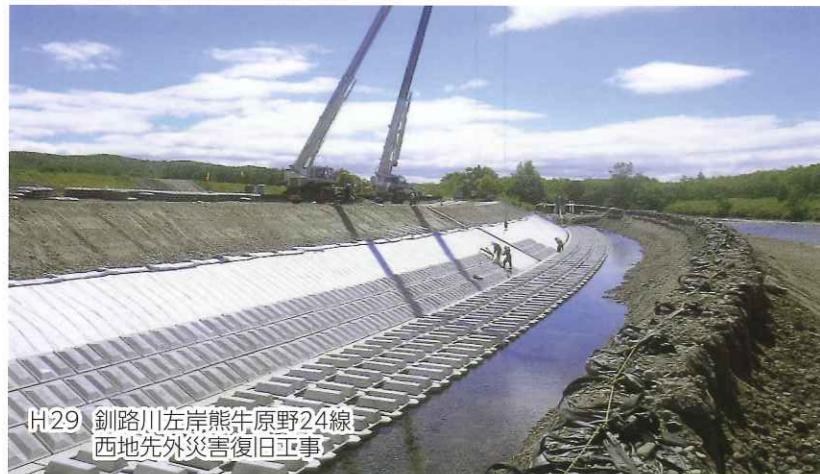


H29 薰別川北線(A改-220)
交付金工事



DISASTER PREVENTION COUNTERMEASURE

防災対策



近年、地球規模の環境変化のため度々襲ってくる爆弾低気圧。河川護岸の整備は増水による災害に対応するべく不可欠な事業であり、防雪柵はときに猛吹雪から人命を守ります。そして起こってしまった災害に対しての緊急対応も我々の重要な任務です。



H29 侯落川災害復旧工事 (単独)



H29 上武佐計根別停線(A雪) 交付金工事 (防雪柵) 1工区

MAINTENANCE

維持工事

道路の維持管理は北海道の流通を梗塞させない重要な使命であり、除雪業務は緊急車両の運行を円滑にする、言わば人命救助にも寄与する任務であると心得ています。



H29 枝払い



H29 トンネル清掃



H29 路面拡幅除雪



H29 夜間除雪

COEXISTENCE WITH NATURE

自然との共存



H26 野付半島地区野付半島増殖場補修工事



H29 太平洋東部地区根室太平洋漁礁設置工事

建設業は自然との関りが深い産業。
漁礁の整備や未利用になった農地の自然再生など、北海道の豊かな自然と人々の生活を繋ぎ合わせる任務も担っています。
「自然との共存」は我々が忘れてはならない重要なキーワードの一つです。



H29 釧路川環境整備幌呂地区外自然再生工事

ARCHITECTUR

建築設備工事



H28 哺育育成センター施設工事

農場施設、ふ化場施設、遊具施設など、
上田組は建築設備工事でも多様なニーズに応える
努力を惜しません。



H28 湯ノ沢ふ化場飼育池棟整備



H28 忠類ふ化場養魚池棟整備



H28 標津こども園 外構・遊戯施設整備工事

GROUP COMPANY

グループ企業のご紹介



株式会社 コスモス

本 社	〒086-1451 標津郡標津町字川北96番地5 TEL 0153-85-2222 FAX 0153-85-2246
釧路営業所	〒085-0054 釧路市曉町12番2号 TEL 0154-21-5757 FAX 0154-21-5758
創 業	平成元年（1989年）5月8日
資 本 金	12,000,000円
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
総 人 員	13名（内役員3名、社員10名） 平成30年5月31日現在
営 業 品 目	土木・建築資材一式、生コンクリート、セメント・各種骨材、農業・水産資材、軽油・灯油・重油等油脂類、環境資材



◎ 北拓砂利碎石株式会社



本 社	〒086-1451 標津郡標津町字川北北7線西3号 TEL 0153-85-2218 FAX 0153-85-2471
創 業	昭和45年（1970年）
資 本 金	35,000,000円
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
総 人 員	11名（内役員3名、社員8名） 平成30年5月31日現在
営 業 品 目	路盤用碎石混入切込砂利、生コンクリート用碎石、アスファルト舗装用碎石碎砂、山砂、盛土用土砂、その他

GLOBAL ENVIRONMENT

地球環境を守る

ハイブリッドパワーショベル

環境負荷低減のため油圧ショベルでCO2削減

■温室効果ガス、とりわけCO2削減の重要性が高まっている昨今、「現場でできる環境負荷低減」を目指すわたしたちは、高い信頼性・耐久性とともに優れた環境性能を発揮するコマツハイブリッド油圧ショベルHB205/215LC-1を導入しました。



上田組太陽光発電所

2014/2/6 発電開始
太陽電池モジュール（260W）960枚
最大発電出力 250kw

■太陽光発電の最大のメリットであるクリーン・エネルギーと広大な敷地を生かした発電プラントは、まさに当社が推進する環境負荷の低減に合致する設備と言えます。なにより化石燃料を燃やして発生させる大気汚染物質がありません。道東地域の冬場の降雪量、晴天率などを考え合わせるとそのメリットは大きいのです。

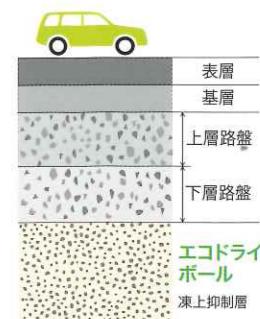
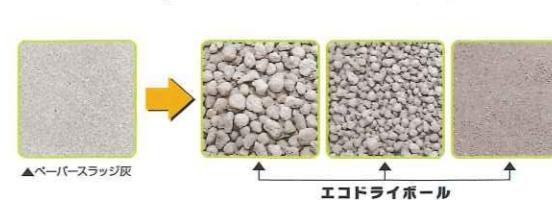
日本製紙釧路工場構内事業

■日本製紙釧路工場の構内事業所として工場内の建物、施設等の点検補修などを行っています。広大な工場のメンテナンスという重要な仕事だけに迅速な対応が求められます。



EDB[エコドライボール]日本製紙釧路工場委託事業

■日本製紙釧路工場が確立したボイラーで繊維かすを燃焼した後に発生するPS灰（ペーパースラッジ灰）を有効活用するための基礎技術は、農地の土壤改良や道路の路盤材料などに用いることが可能な新規材料に生まれ変わりました。弊社はその製造と販路拡大のため、日本製紙釧路工場内にEDB釧路事業所を設立し、PS灰（ペーパースラッジ灰）の受託製造をしています。



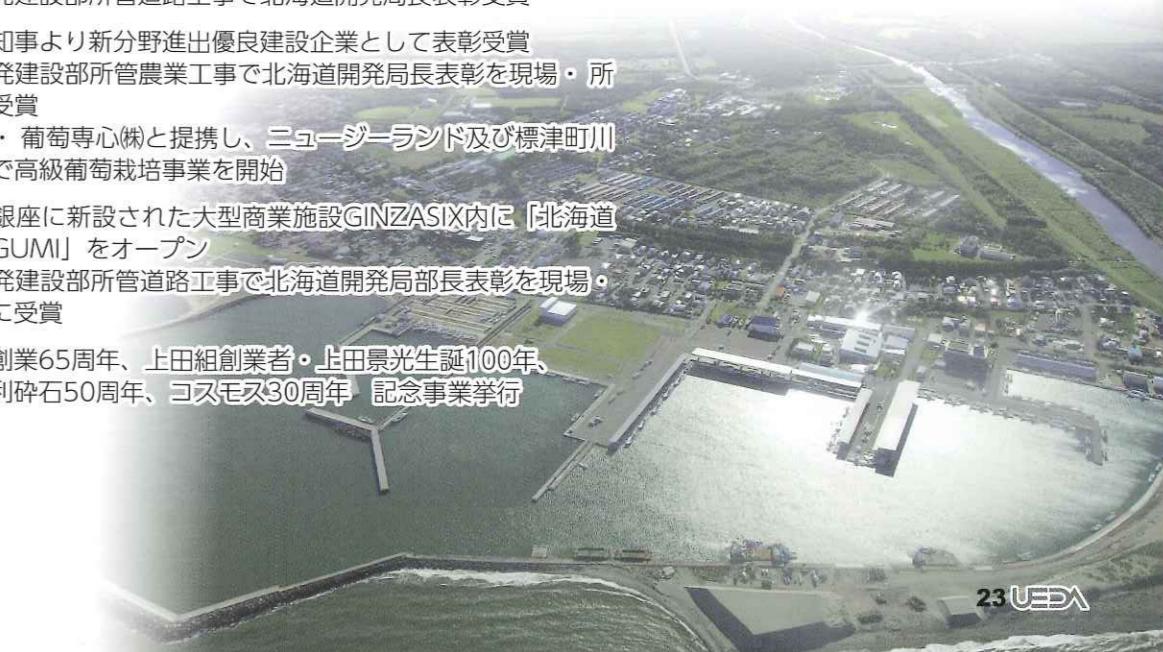


創業者 上田 景光



- 昭和29年（1954） 標津町川北に於て土建上田組（代表上田景光）として建設業の知事登録を受け創業
- 昭和40年（1965） 株式会社上田組に組織変更 資本金2,000,000円
- 昭和41年（1966） 事務所兼上田会館完成
- 昭和42年（1967） 釧路開発建設部工事参加
- 昭和44年（1969） 三菱キャタピラーと提携、上田式フォーク完成
- 昭和45年（1970） 砂利碎石プラント新設 資本金15,000,000円に増資
- 昭和46年（1971） 初代代表取締役上田景光死去
上田光夫代表取締役に就任、釧路支庁工事参加
- 昭和47年（1972） 農用地開発公団新酪農村事業参加
- 昭和48年（1973） 釧路営業所開設 資本金20,000,000円に増資
- 昭和49年（1974） 釧路労働基準協会長表彰受賞
- 昭和51年（1976） 労働大臣表彰受賞、十勝支庁工事参加
- 昭和52年（1977） 網走支庁工事参加
- 昭和53年（1978） 新社屋完成
- 昭和54年（1979） 北海道開発局営繕工事参加
- 昭和55年（1980） 自家用スタンド開設
- 昭和56年（1981） 農業基盤整備事業に対し北海道知事表彰受賞、野球場、照明付テニスコート完成
- 昭和57年（1982） 北海道開発局優良工事表彰受賞
(株)上田組協力会（上親会）結成、整備工場及び別海作業所新落成、野球場にナイター設備完成
- 昭和58年（1983） 網走開発建設部工事参加 会社創業30周年記念式典挙行
- 昭和59年（1984） 雇用保険事務の適正に対し労働大臣表彰受賞
標津町特別産業功労賞（第1号）表彰受賞
- 昭和60年（1985） 北海道土木部優秀工事に対し北海道知事表彰受賞
- 昭和63年（1988） 会社創業35周年記念式典挙行
- 平成元年（1989） 札幌開発建設部工事参加
関連会社として建築資材を取り扱う商社(株)コスモス設立
- 平成2年（1990） 資本金35,000,000円に増資
建設省指定統計調査適正報告に対し建設大臣感謝状授与される
- 平成4年（1992） 社屋増改築行う
- 平成5年（1993） 会社創業40周年記念式典挙行
- 平成6年（1994） 帯広開発建設部工事参加
- 平成8年（1996） 川北処理区下水道整備事業参加
- 平成9年（1997） 北海道都市施設事務所工事参加
- 平成10年（1998） 地域高規格道路釧路中標津線工事参加
会社創業45周年記念式典挙行
- 平成11年（1999） 電子化に対応した社内LAN構築
- 平成12年（2000） 道立根釧農業試験場改築工事参加
釧路開発建設部所管工事で優秀工事として農林水産省構造改善局長表彰受賞
ISO 9002（品質'94年版）認証取得

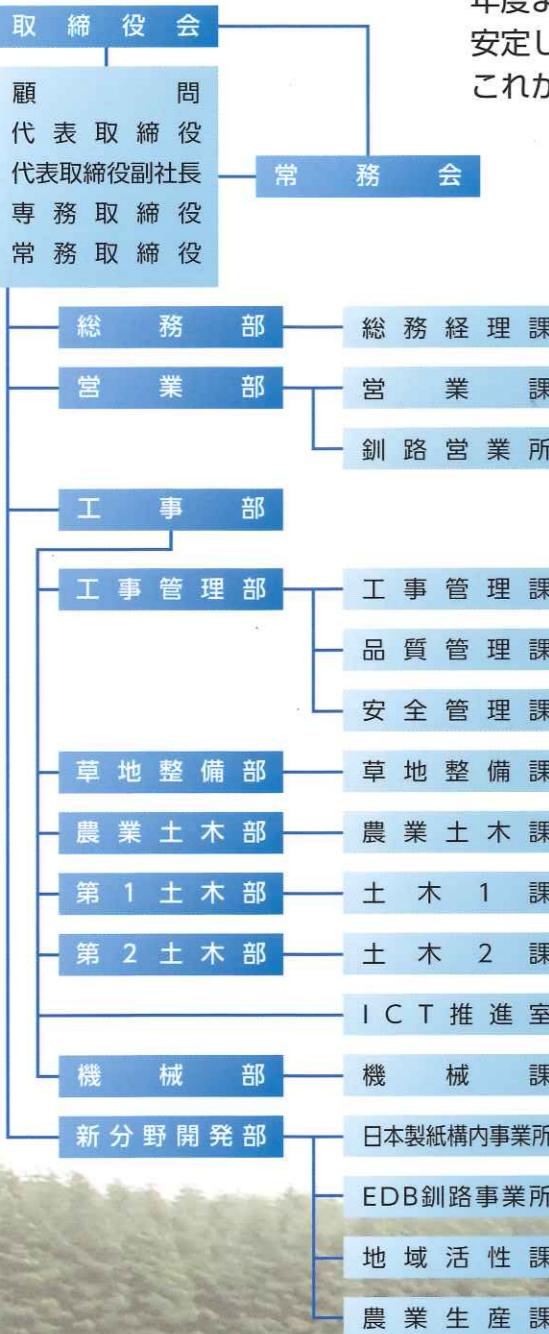
- 平成14年（2002） 当社代表取締役、根室支庁管内建設業協会会長に就任
- 平成15年（2003） 電子入札（釧路開発建設部所管工事）初応札
独身者向社宅（木造2階建、1棟4戸）新築
釧路開発建設部長より優良工事表彰受賞
ISO 9001（品質'00年版）認証取得（切替更新）
会社創業50周年を迎える
- 平成16年（2004） 国営環境保全型かんがい排水事業【はまなか地区】工事参加
釧路開発建設部所管河川工事で北海道開発局長表彰受賞
当社代表取締役、釧路建設協会会長に就任
- 平成17年（2005） 北海道横断自動車道工事参加
8牧場利用組合に参画しコントラ事業を立上げる
- 平成18年（2006） 帯広防衛支局【矢臼別演習場周辺整備】工事参加
釧路開発建設部所管農業工事で釧路開発建設部長表彰受賞
- 平成19年（2007） ISO 014001（環境'04版）認証取得
国営環境保全型かんがい排水事業【別海南部地区】工事参加
- 平成20年（2008） 日本製紙(株)釧路工場内にペーパースラッジ灰を原料に骨材を製造／販売するEDB釧路事業所を開設
会社創業55周年を迎える
- 平成21年（2009） 埼玉県三郷市の大型商業施設【ららぽーと新三郷】内に
【標津いくら丼うえだ】を開店
釧路開発建設部所管農業工事で北海道開発局長表彰受賞
ISO 9001（品質'08年版）認証取得（切替更新）
- 平成23年（2011） <3/11 東日本大震災発生>
道道知床公園羅臼線トンネル工事参加
日本製紙(株)釧路工場構内営繕業務受託
当社代表取締役、北海道知事より北海道産業貢献賞（土木功労者）受賞
- 平成24年（2012） 当社代表取締役、国土交通大臣より建設事業関係功労者表彰を受ける
北海道開発局より工事成績優秀企業に選ばれる
- 平成25年（2013） 自社太陽光発電所（250KW）建設に着手
会社創業60周年を迎える
- 平成26年（2014） 埼玉県入間市の三井不動産アウトレットパーク内にいくら丼うえだ2号店をオープン
- 平成27年（2015） 釧路開発建設部所管道路工事で北海道開発局長表彰受賞
- 平成28年（2016） 北海道知事より新分野進出優良建設企業として表彰受賞
釧路開発建設部所管農業工事で北海道開発局長表彰を現場・所長共に受賞
山梨県・葡萄専心(株)と提携し、ニュージーランド及び標津町川北地区で高級葡萄栽培事業を開始
- 平成29年（2017） 東京都銀座に新設された大型商業施設GINZASIX内に「北海道UEDAGUMI」をオープン
釧路開発建設部所管道路工事で北海道開発局長表彰を現場・所長共に受賞
- 平成30年（2018） 上田組創業65周年、上田組創業者・上田景光生誕100年、
北拓砂利碎石50周年、コスモス30周年 記念事業挙行



CORPORATE DATA

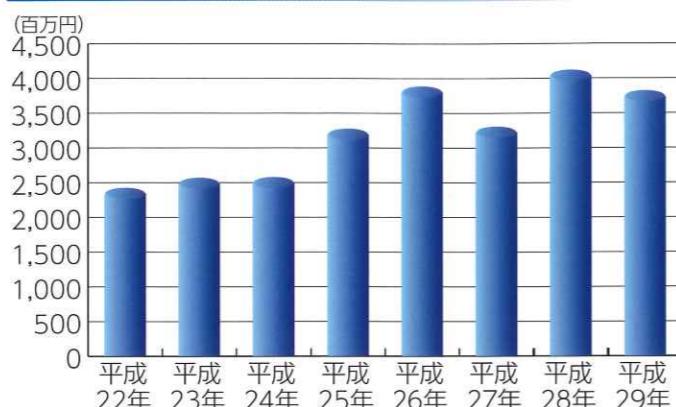
企業データ

機構図



肥培かんがい工事や草地整備工事の発注が増え始めた平成25年度より、弊社の売上げも伸びを見せています。安定した受注を支えるのは技術のある人材と充実した機動力。これからも確かな品質で発注者様のニーズに応えて参ります。

売り上げ



工事部会議の様子



オペレータ&フィールドワーカー

お客様のいかなるニーズにも
迅速にかつ正確にお応えできるように

■当社では2000年に品質保証に関するマネジメント規格であるISO9002、2007年には環境管理の規格であるISO14001を取得しました。常に安定した高品質のサービスを提供するための品質保証システムと、製品・サービス等について、環境に与える負荷を継続的に低減・防止していくための環境マネジメントシステムを構築実践し、お客様の様々な事業に対応しております。



充実した機動力



農業土木 46.1%



道路・橋梁 23.8%

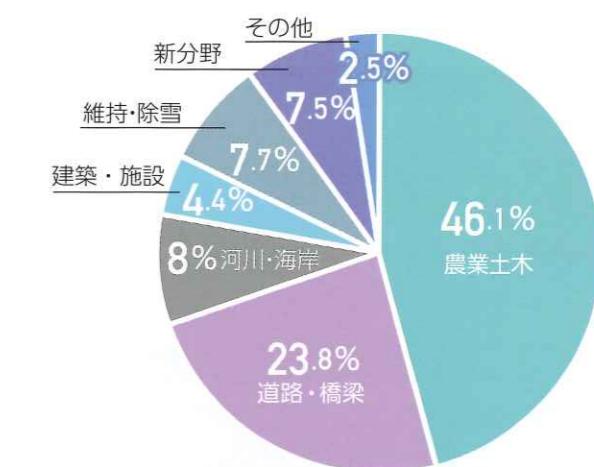


維持・除雪 7.7%

主な保有重機(平成29年度調べ)

名 称	規 格	台数
ブルドーザ	9~12t級	14台
その他	その他	4台
パワーショベル	0.7m3級	8台
タイヤショベル	0.4m3級	1台
	3.0m3級	2台
	1.5m3級	3台
トラクター	ホイール式	8台
油圧ブレーカー	解体用	1台
クローラーダンプ	10t級	1台
ブラッシャブレーカー	24インチ	8台
ディスクハロー	22インチ	6台
プラウニングハロー	22インチ	17台
ケンブリッヂローラー	28インチ	2台
ニプロローラー	2t	13台
ライムソワー	800リットル	3台
有機マルチソワー	1100リットル	1台
ブロードキャスター	800~1500リットル	5台
除雪用トラック	10t級	6台
ユニック付きトラック	4t級	4台
	ユニック付きトラック	2台

工事種別比率(平成29年度調べ)



創業当時から
上田組の主要工事は農業土木です。
酪農王国である北海道釧根地区を支え続けます。



河川・海岸 8.0%



SAFETY MIND

安全第一

毎年春期・秋期に行われる大安全大会



「安全第一」。
すべての産業で使われるこの言葉ですが、
我々建設業者は深心に染み入るほど
この言葉を繰り返します。

安全はすべてにおいて最優先であり、
それは作業に従事する本人とその家族を
守る最重要ファクター。

毎年春と秋に行う大安全大会、
毎月行う店社安全パトロールなど、
常に安全を意識した事業を行い、
全社員が一丸となって
ゼロ災害を全うします。



充実の安全施設



日々の安全指導



UPBRINGING

育成と成長

地域に根ざした企業として、地元の子供たちは宝そのもの。
上田組はそんな子供たちに夢と希望を与える企業を目指します！

高校生インターン説明会



小学生記者のインタビューに応えて



地元の小学生記者が弊社
を訪問し、立派な壁新聞
を造り上げてくれました。
地域の子供たちが自慢し
たくなるようなカッコイ
イ企業を目指します！

新人ガイダンスの様子



ベトナム人研修生受け入れへ



初々しい新入社員たちは、
弊社にとって大切な金の卵。
充実した新人研修、外部講習はもとより、
各配属先では知識と経験豊富な先輩が
しっかりとサポートする体制を整えています。



女性技術者も活躍中！



現場で頼もしい存在のベテラン

SUPPORT

地域貢献



キラリ標準
冬まつり in 川北

弊社多目的グランドを会場に隔年で行われる「キラリ標準冬まつりin川北」。大滑り台にかまくら、標準の味覚と花火大会。会場設営から積極的に関わり、町民交流と子供たちの賑わいを創出し、地域に必要とされる貢献活動を続けて参ります。



弊社多目的グランドは各種イベントへの開放、スポーツ交流、ドクターヘリのランデブーポイントなど従業員と地域の皆様にご活用頂いております。



毎春、標準町主催で行われる母なる標準川の河川敷清掃へ積極的に参加しております。



災害時の緊急対策や夜間イベントで活躍する移動式サーチライトを完備しています！



平成26年6月、熊本地震によって大きな被害が出た益城町に対し、社長の即断により軽トラックを3台寄贈

(写真左 益城町長)



平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震。これにより北海道全域が大停電となりパニックが起きた中、弊社は迅速に発電機を手配し、地域の農場を廻って搾乳に必要な電力を供給。この支援についてJA標準から感謝状を戴きました。



(写真右 標準JA今井組合長)



上田組葡萄園開設記念として、提携先の山梨県・葡萄専門家より納品した高級葡萄を地域の子供たちと一緒に味わいました。



毎年、地域のこども園に雪山を造っています！

NEW CHALLENGE

新たな挑戦



山梨県の葡萄生産法人「葡萄専心」と提携し、ニュージーランドとここ標津町川北で高級葡萄種「シャインマスカット」や「ピオーネ」を栽培。上田組の社是【BE CREATIVE FOREVER ～永遠なる創造のために～】を体現するべく、新たな挑戦が始まりました。



標津町川北地区の上田組葡萄園



上田組は企業としてのグローバル化を推進するため、ニュージーランドへ語学留学の社員派遣も行っています。



外食産業への挑戦

埼玉県入間市の三井アウトレットパークで人気を博すいくら丼専門店、その名も「いくら丼うえだ」。

HOMETOWN

愛する地域と共に

葡萄栽培への挑戦



ニュージーランド・ネイピア市の上田組葡萄園にて



ネイピア市内 フリーマーケット



標津町地域 HACCPシステム

この全国初となるシステムは、水産物の水揚げから加工・流通に至るすべての過程に、地域が一体となり標津町地域HACCPマニュアル管理のもとで徹底した衛生管理により安全でおいしい食品を全国の消費者に提供するものです。標津町の地域水産業界が連携し、一体となって取り組んだ安全食品の供給システムが「標津町地域HACCPシステム」です。



日本で最も美しい村

標津町は、日本の農山村の景観・文化を守るために発足した「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

美しい村に囲まれた町としての景観づくりを目指して、小さくてもキラリと光る標津町を創るとともに、町民自慢の景観資源を将来にわたって守り続け後世に引き継ぐため、魅力あふれる数多くの町の景観の掘り起しを地域力を發揮し、町民との協働により進めています。



金澤瑛標津町長(右)

上田組は標津町の
グッドパートナーで
あり続けます!



標津海岸の四角い太陽
(本誌表紙に採用)



サーモンパーク



流氷と知床連山



牧草ロール風景



ポー川史跡公園



町民祭り「水キラリ」



秘湯 川北温泉

BE
CREATIVE
FOREVER

～永遠なる創造のために～



株式会社 上田組

〒086-1451 標津郡標津町字川北96番地5
TEL 0153-85-2221 FAX 0153-85-2662
<http://kk-uedagumi.co.jp/>